

科目名	社会文化ゼミナール	科目コード	1151	単位数	2
担当者名	保坂 智	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次

● 授業のねらい

グローバル化が進む現代において、日本人であることを否応なく意識されるようになってきている。そこで日本人論・日本文化論の著名なものを読みこんでまとめ、感想や意見を出し合いながら、最終的にレポートを書くことによって、自分なりの考えをもつことができるようにする。テキストは北海道にゆかりの内村鑑三『代表的日本人』、新渡戸稲造『武士道』を扱う。

● 到達目標

- ・レジュメを作成し、発表できるようになる。
- ・質問を準備し、活発なディスカッションが行える。
- ・レポートを作成し、自分なりに「日本（人）的とはどういうことか」の意見をもつ。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス（本の紹介、テキスト作成、レジュメの作り方）
- 2週目 各自の『論語』一節発表
- 3週目 内村鑑三について / 『代表的日本人』西郷隆盛
- 4週目 『代表的日本人』上杉鷹山 / 二宮尊徳
- 5週目 『代表的日本人』中江藤樹 / 日蓮上人
- 6週目 各自の「代表的日本人」を発表
- 7週目 内村鑑三・新渡戸稲造が学んだ北海道大学探索
- 8週目 『代表的日本人』についてのレポート発表
- 9週目 新渡戸稲造について / 『武士道』1～3章
- 10週目 『武士道』4～6章 / 7～9章
- 11週目 『武士道』10～12章 / 13～15章
- 12週目 『武士道』16～17章 / 解説
- 13週目 『論語』と『武士道』の比較
- 14週目 『武士道』についてのレポート発表
- 15週目 「日本（人）論」レポート発表
- 16週目 課題に対するフィードバックを実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

下記の参考書を手掛かりに、担当者は本を読み、まとめる。他の参加者は読んで質問や意見を準備しておく。発表終了後は、最終レポートに向け、補足し準備すること。

● 成績評価の方法・基準

レジュメの作り方、疑問点の適切さ、レポートのできとともに、毎時間の質問等発言を加味する。担当箇所の発表30%、レポート40%、ゼミナール中の発言や参加態度30%。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

ゼミナールという授業の形式上、毎回必ず出席し、積極的に発言して、議論を活性化することを期待する。3回休んだ場合は評価しない。

● テキスト

- ・内村鑑三『代表的日本人』（岩波文庫）778円
- ・新渡戸稲造『武士道』（ちくま新書）842円
- ・金谷治 訳注『論語』（岩波文庫）1010円

● 参考書

- ・苅谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社＋ 文庫）950円
- ・船曳建夫『「日本人論」再考』（講談社学術文庫）1188円
- ・與那覇潤『日本人はなぜ存在するか』（集英社文庫）540円

● 更新日付

2019/02/27 03:30